

## 南海トラフ巨大地震・津波被害想定の実施

### 1 趣 旨

国の南海トラフ巨大地震・津波のシミュレーションを踏まえ、兵庫県として独自に南海トラフ巨大地震の被害想定を行い、対策の推進を図る。

### 2 全体事業イメージ

国の浸水域等の発表(H24.8月)・・・津波高、浸水域、人的・建物被害  
(地震動による防潮堤等の被害なし、越流時に防潮堤破壊、全門扉閉鎖)



地形データ等の精査

- ・ 県管理防潮堤(天端高)・2級河川(天端高・河床)のH24測量データを使用
  - ・ ポーアイ等地盤データの修正
  - ・ 大阪湾フェニックス計画の神戸沖・大阪沖埋立処分場を地形として導入
- 防潮堤等構造物の簡易耐震診断(国土交通省「津波浸水想定の設定の手引き」を準拠)  
国・県管理防潮堤・河川・・・H25.3までに完了し、液状化による沈下量を考慮



津波シミュレーション実施(24年度事業:H25.8月公表予定)

		実施ケース(素案)			備 考
		地震動の影響	越流の影響	門扉等	
無堤	ケース1	堤防なし	堤防なし	門扉なし	・ 防潮堤等が機能しない最悪ケース ・ 避難対策用に活用
有堤	ケース2	耐震性調査あり 沈下量等考慮	越流時破堤  被害なし	常時閉鎖・自動・電動門扉は閉鎖  全門扉閉鎖	・ ケース2とケース3を比較することにより門扉閉鎖・越流対策の減災効果を推計
	ケース3	耐震性調査なし 全壊扱い			

南海トラフ巨大地震対策アクションプラン(暫定版)



被害想定(H26.3完成見込)

地震動と津波による被害を想定

市町別に結果を算出

〔想定項目〕 死者・負傷者数、建物被害、避難者数 等



減災効果の推計(H26.3完成見込 全県分で検討)

減災項目	被害を減らす具体的な対策
死者数	建物倒壊(耐震化率向上)、津波(越流対策、門扉閉鎖、早期避難等)、急傾斜地崩壊(対策工事)、火災(耐震化、訓練)
避難者数	建物倒壊(耐震化率向上)、津波(越流対策、門扉閉鎖)、急傾斜地崩壊(対策工事)、火災(耐震化、訓練)
建物被害	建物倒壊(耐震化率向上)、津波(越流対策、門扉閉鎖)、急傾斜地崩壊(対策工事)、火災(耐震化、訓練)



県地域防災計画修正(H26.6)、南海トラフ巨大地震対策アクションプラン